



慶應義塾大学ビジネス・スクール

誰を選びますか？

—商品開発チームの人選— (B)

あなたは目の前にある人員リストを見入っていた。さりげなく候補者と面談したメモも隣に置いてある。面談といっても公式なものではなかったため、彼らの等身大の姿を確認できたと考えている。候補者達は自分が新規プロジェクトチームの候補に選ばれているとは知らない。

まもなく始まる会議であなたは一人の名前を告げなければいけない。甲乙付けがたいというのが感想だ。あなたは溜息をついて、珈琲を手にとった。

あなたのメモ

- ◇ **鶴崎舞** 実家の病院にいる祖母の容体が悪く「お婆ちゃん子」を自負する鶴崎は常に見舞いに行っているとのこと。元気がない。人事との面談の際に海外事業所希望を取り下げた。
- ◇ **幸崎大祐** 大学時代から付き合っている女性と近日中に籍を入れ、半年後には父親になると報告された。相手は大学病院の手術室の看護師でなるべく早い職場復帰を望んでいるらしい。
- ◇ **津久見桃子** 趣味でやっている同人誌がコミケ（コミックマーケット??）で人気を集め、ツイッターで「バズった」と言っていた。（何のことを言っているのかよく分からなかった）近く結婚するらしい。
- ◇ **重岡宗太郎** リモートワークの導入後、健康に目覚め「将棋以外のスポーツをやりたい」とのことでゴルフにはまっているが、なかなか時間とお金がないとぼやいていた。
- ◇ **清武祥彦** 海外事業所での勤務を人事面談の時に強く希望していたらしい。「なかなか海外に行けず調子が出ない」と言っていた。転職エージェントと会っているという話がある。

本ケースは法政大学経営大学院イノベーション・マネジメント研究科教授 高田朝子がクラス討議の資料とするために作成したものである。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクールまで（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp）。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。ケースの購入は <http://www.bookpark.ne.jp/kbs/> から。

Copyright © 高田朝子 (2021年1月作成)

新規商品のプロジェクトはいくら働き方改革を会社として推進していても、現実問題として、メンバーは長時間のコミットメントをしなくてはならない。リモートワークが導入されているが、時々顔を合わせた会議も不可欠である。

5 一方既存メンバーでは開発の柳浦正道とファイナンスの行橋健人が、仕事の仕方と資金繰りのことで小さな対立をおこし、そこにデザイナーの立石裕一郎が絡んで雰囲気が悪くなっていると聞いている。若い人材を投入することで雰囲気を変えたいという隠れた狙いもあった。

上手にメンバー同士がコラボレーションをして、お互い助け合い、メンバーの叡知を結集させて良いものをつくってもらいたい。そう考えるとますます誰をえらべばいいのか、あなたは既存のメンバーとの組み合わせを考えながら、珈琲を飲み干した。

10

15

20

25

30

不 許 複 製

慶應義塾大学ビジネス・スクール
